

令和6年第2回加須市教育委員会定例会会議録

招集の日時	令和6年2月19日	午後1時30分
招集の場所	505会議室	
開会の日時	令和6年2月19日	午後1時35分
閉会の日時	令和6年2月19日	午後3時30分
出席者の氏名	小野田誠教育長、遠藤康江教育長職務代理者、猪股富美子委員、秋山哲也委員、松永修委員、片山上総委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	齊藤千恵美生涯学習部長、中島高広学校教育部長、野本朋子こども局長兼学校教育課部長理事、高貫貢生涯学習部副部長兼教育総務課長、前田辰男生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長、渡辺伸征加須文化・学習センター所長、齋藤一実スポーツ振興課長兼加須市民体育館長、大原真理子図書館課長兼加須図書館長、清水博文学校教育課長兼指導主事、田中浩学校教育課参事兼学校給食課長兼加須学校給食センター所長、長沼理史こども局参事兼子育て支援課長兼学校教育課参事、関口久美子こども局こども保育課長兼学校教育課参事兼指導主事、野本大輔学校教育課主幹兼指導主事、辻本康平学校教育課主幹兼指導主事、荻島千秋学校教育課主幹兼指導主事兼教育センター副所長、杉田勝学校教育課教育専門員兼教育総務課教育専門員、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第 1 第 2 第 3 第 4 第 5 第 6 第 7	会議時間の決定 会議録署名委員の指名 前回会議録等の承認 第10号議案 加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類及び程度の判断について 第11号議案 教育財産の取得に係る申出について 第12号議案 加須市議会定例会提出議案に対する意見について その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	<p>ただいまから、令和6年第2回加須市教育委員会定例会を開会します。本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。</p> <p>会議時間の短縮を図るため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。</p> <p>本日は、傍聴希望者はありません。</p> <p>【日程第1 会議時間の決定】 日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることによろしいでしょうか。</p>	
小野田教育長		

	(異議なしとの声あり)
	それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。
小野田教育長	【日程第2 会議録署名委員の指名】 日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は片山委員にお願いいたします。
片山委員	はい。
小野田教育長	【日程第3 前回会議録等の承認】 令和6年第1回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。
小野田教育長	ご質疑、ご意見等ないようですので、令和6年第1回定例会会議録については承認ということによろしいでしょうか。
	(異議なしとの声あり)
	それでは、承認とします。
小野田教育長	日程第4 第10号議案「加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類及び程度の判断について」は、個人情報を含む案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第2号の非公開情報にあたります。
	よって、日程第4は、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とすることによろしいですか。
	(よろしい との声あり)
小野田教育長	それでは、これより会議を非公開といたします。
	【日程第4 第10号議案「加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類及び程度の判断について」】 (全員賛成により原案可決)
小野田教育長	これより会議の非公開を解きます。
小野田教育長	【日程第5 第11号議案「教育財産の取得に係る申出について」】 日程第5 第11号議案「教育財産の取得に係る申出について」を議題といたします。事務局より説明させます。
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	放課後児童健全育成室として使用している元和小学校の校舎の一部について、令和6年4月1日以降普通教室として利用するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第28条第2項の規定により、教育財産として取得することを市

	<p>長に申し出たいので、この案を提出するものごさいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育財産の取得に係る申出について説明</li> </ul>
小野田教育長	<p>以上説明がありました。これより審議を行います。 ご質疑、ご意見等ごさいますか。</p>
遠藤教育長職務代理者	<p>「放課後児童健全育成室」と「学童保育室」を使い分けている理由は何でしょうか。</p> <p>また、「教育財産に戻す」ということは、学童保育室は教育財産ではないということでしょうか。</p>
関口こども局こども保育課長兼学校教育部主席専門員	<p>「学童保育」という言葉が最初に使われ、その後に「放課後児童健全育成室」という言葉が使われるようになりました。意味は同じとなります。</p>
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>教育財産とは、教育委員会が所管するものを指します。文部科学省の補助金を活用して整備する施設などは教育財産です。学童保育室は子ども家庭庁の所管であるため、教育財産ではありません。</p> <p>元和小学校校舎の増築では文部科学省の補助金を活用するため、工事が必要な場所は、教育財産として管理する必要があります。</p>
松永委員	<p>他の学校の学童保育室は教育財産としていないところもあるかと思いますが、教育財産とする、しないの違いは何でしょうか。</p>
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>恒常的に使用する場所でない場合は、教育財産のまま使用許可をして学童保育室として使用しています。恒常的に使用する場所は、教育財産から外して使用しています。</p>
秋山委員	<p>校舎の増築により運動用地が削られるという問題があります。図を見ると、運動用地がかなり狭まるのが予想されます。教育環境を整えるための必要な措置ではありますが、運動場のスペースは確保されるのでしょうか。</p>
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>運動場のスペースは、文部科学省が定める小学校の校庭面積の基準に基づいて計算を行い、校舎の増築後も必要な面積は十分に確保できています。</p> <p>旧校舎と2階の渡り廊下で接続し、人の流れを妨げないようにした上で、できる限りの面積を確保しています。</p>
小野田教育長	<p>それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、採択に移ります。 お諮りします。</p> <p>第11号議案「教育財産の取得に係る申出について」は、原案のとおり可決ということによろしいですか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p> <p>それでは、原案のとおり可決とします。</p>

	(全員賛成により原案可決)
小野田教育長	【日程第6 第12号議案「加須市議会定例会提出議案に対する意見について」】 日程第6 第12号議案「加須市議会定例会提出議案に対する意見について」を議題といたします。事務局より説明させます。
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	令和6年第1回加須市議会定例会に提出された第17号議案加須市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例について、加須市議会から意見を求められたので、意見を別紙のとおりとすることについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第2項の規定に基づき審議願いたく、この案を提出するものでございます。 ・加須市議会定例会提出議案に対する意見について説明
小野田教育長	以上説明がありました。これより審議を行います。 ご質疑、ご意見等ございますか。
小野田教育長	それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、採択に移ります。 お諮りします。 第12号議案「加須市議会定例会提出議案に対する意見について」は、原案のとおり可決ということよろしいですか。
	(異議なしとの声あり)
	それでは、原案のとおり可決とします。
	(全員賛成により原案可決)
小野田教育長	【日程第7 その他】 日程第7 「その他」でございます。 諸般の報告をさせます。 斉藤生涯学習部長より順次報告をいたします。
斉藤生涯学習部長	・教育功労者表彰式について ・教育委員会臨時会の開催について ・十六間筋兜等の特別展について
中島学校教育部長	・各小学校の150周年記念について ・学校情報等報告について
野本こども局長兼学校教育部理事	・保育所・学童保育・幼稚園の申込状況について ・子ども子育て支援計画におけるアンケートについて ・フードパントリー団体連絡会の共同倉庫と活動拠点の整備について
小野田教育長	それでは、委員さんの方で、説明がほしい資料はございますか。
秋山委員	「不登校児童生徒に関する情報提供」で、中学校の不登校の主な理由が「無気

	力・不安」が多くなっていますが、その原因としてどのようなことが考えられるのでしょうか。
荻島学校教育課主幹兼教育センター副所長兼指導主事	「無気力・不安」が多い理由としては、生徒自身や保護者の学校に対する意識の低下が一因となっています。具体的な理由があるわけではなく、何となく学校に行く意欲がないという状態が多いです。
松永委員	不登校の理由として「無気力・不安」が多いことは、具体的な原因が突き止められていないことを示しています。このような状況を改善するためには、専門家の力を借りる必要があると考えています。 長期欠席者全体の令和4年度との比較はどのようになっているのでしょうか。 また、小学校の長期欠席「その他」の具体的な状況や改善した事例について情報提供をお願いします。
清水学校教育課長兼指導主事	12月末時点で小学校の30日以上欠席者数は133人、中学校は265人となっています。昨年度の同時期では、小学校は93人、中学校は239人でした。
荻島学校教育課主幹兼教育センター副所長兼指導主事	小学校の長期欠席理由の「その他」は、保護者の教育に対する無理解や無関心、海外長期滞在、インターナショナルスクールへの通学などが含まれます。また、どの項目にも該当しないケースも「その他」に含まれます。 不登校が改善した事例としましては、夏休みの教頭先生向けの研修で聞いたところ、10数名の教頭先生から改善したとの報告がありました。また、適応指導教室「ピア」では、現在20名の生徒が在籍しており、そのうち4名が学校に復帰しています。
松永委員	通常「その他」とは具体的なもの以外の少数がカウントされます。しかし、この場合「その他」が大部分を占めています。「その他」を分析しなければ、改善につながらないと思います。 また、改善した事例の中には、改善策が存在します。そのため、改善事例の研究を進めていただきたいと思います。
片山委員	「不登校児童生徒に関する情報提供」で、項目の状況は具体的にはどのようになっているのでしょうか。
清水学校教育課長兼指導主事	暴力行為は、子ども同士の暴力が増えており、発達障害の傾向がある子どもや、精神的に不安定な子どもが関与していることがあります。 いじめについては、認知件数は37件、解消件数は12件で、この差は25件となります。これは、学校がいじめを認知し、対応を始めてから、問題が解消されるまでの見守る期間を3か月としており、見守る期間が残っているため解消件数が少ないという状況になっています。
猪股委員	学力調査の評価や分析のように、現場の先生方がこのデータを分析・評価し、学校側がどのように課題解決に取り組んでいるのか、その現状について教えてください。

清水学校教育課長兼指導主事	<p>市として特定の委員会は設けていませんが、不登校は加須市の喫緊の課題となっており、委員会を設けて各学校で分析を行っています。</p> <p>いじめが発生した際には、学校が生徒指導委員会を中心に対応し、教育委員会へ各事件についての報告が上がってきます。</p> <p>暴力行為についても同様で、学校が生徒指導委員会を中心とし、保護者や生徒に対する指導を行っています。</p>
猪股委員	<p>教育委員会と学校現場で集計したデータだけでは子どもや家族の現状を厳密に把握するのは難しいと思いますので、教育相談やすく子育て相談室での発達相談など、さまざまな相談窓口を通じて得られた情報と、教育委員会のデータを照らし合わせ、より早く課題を察知し、対応することが重要だと思います。</p> <p>特に、不登校の前兆が見られた生徒に対しては、教育センターなど、より広い視野で、様々な支援グループの力を借りて、子どもたちが声を上げやすい体制作りを進めていただきたいと思います。</p>
清水学校教育課長兼指導主事	<p>すすく子育て相談室に入った不登校や虐待の案件については、教育委員会へも連絡が入り、情報を共有しています。場合によってはケース会議を開くなどして対応しています。また、会えない子どもがいる場合など、不登校の案件についても、スクールソーシャルワーカーとともに、すすく子育て相談室と連携して家庭訪問などを行っています。</p>
猪股委員	<p>幼稚園や保育所での人間関係の基礎づくりは、後々に影響するという話をよく聞きます。早期対応が重要だと認識しています。すすく子育て相談室との情報共有の中で、最近は小学生の間での問題行動が増えているということも見受けられます。発達の問題も含めて、早期に状況把握と対応を行うことが重要だと思います。そのため、今後も情報共有を深め、早期対応に努めていただければと思います。</p>
遠藤教育長職務代理者	<p>「市長との懇談会」で、PTAの方々と市長との間で行われた会話の中に、今後の学校のあり方についての意見について教えていただけますか。</p> <p>また、「加須ふじの里駅伝大会の開催について」で、市外からの参加者がほとんどなのはなぜでしょうか。</p> <p>さらに、「図書館開館20周年記念展示について」で、前回の図書館まつりでは駐車場が不足し、多くの市民から苦情が寄せられました。今回も春休みやゴールデンウィーク、冬休みといった休暇期間に開催されるため、駐車場の確保について考慮していただけるとありがたいです。</p>
斉藤生涯学習部長	<p>学校の今後のあり方についての質問では、スクールバスの必要性があるのではとの質問が出ました。保護者の送迎や登下校が遠い状況を考慮し、その対策としてスクールバスの導入を検討してほしいとのことです。</p> <p>また、資料提供についても要望がありました。地域で活用するため紙資料を提供してほしいとのことです。</p>
齋藤スポーツ振興課長兼加須市民体育館長	<p>今年は特に市内チームの申し込みが少なく、全体の16%程度となっています。交流人口の拡大という目的と市民の健康づくりという目的がありますが、これまでは交流人口の拡大が大きいものでした。来年度以降は、健康づくりにも焦点を</p>

当てていきたいと考えています。

大原図書館課長兼加須図書館長

図書館の来館者数は、特にゴールデンウィークや夏休みには利用者が多い状況です。特に加須図書館では市民プラザでのイベントと重なると、駐車場が満車になることがあります。その対策として、職員の駐車場を近くの公共施設に移すなど、来館者のための駐車場を確保するようにしています。今後は、他の対策についても検討してまいります。

猪股委員

「横瀬町ICT教育学校視察について」で、他の自治体から視察に来るということは、市のICT教育のどのような取り組みが先進的と認識されているのでしょうか。

また、「市長との懇談会」で、ふるさと納税の教育への活用についてとありますが、教育には大きな費用がかかる可能性があります。他の自治体では、教育分野でふるさと納税を活用する取り組みが行われていますので、そのような選択肢を加須市でも考えるべきではないでしょうか。

小野田教育長

ふるさと納税の用途は、教育委員会の所管ではなく、市長部局が担当しています。ただ、ふるさと納税を教育資金としても活用しています。例えば、サイエンススクールやタブレット端末の導入、田ヶ谷サンスポーツランド野球場の改修などです。このような状況を踏まえ、教育委員会としてもふるさと納税の資金がどのように教育に充てられているかを説明することが必要だと思います。

清水学校教育課長兼指導主事

横瀬町は、県教育委員会のICT教育推進課に視察をしたいと申し込んだことから始まります。端末がChromebookであること、支援ソフトがミライシードであることの中で、加須平成中学校がベネッセのミライシードアワードで特別賞を受賞したことで、加須市への視察となりました。

視察の際には、加須平成中学校と特別支援学級で端末を活用している加須小学校を選びました。

特別支援学級の子どもたちがタブレットを文房具のように使いこなし、プログラミング教育まで行っていることは進んだ取り組みであると思います。

片山委員

「オンラインによる加須市長新年のあいさつ配信」があり、中学3年生の子どもがすごく良かったと、とても嬉しそうに話をしてきました。市内の学校に一体感があったとのことでした。とても素晴らしい取り組みだと思いましたので、今後も実施していただきたいと思います。

小野田教育長

それでは、報告を終わります。

小野田教育長

以上で、令和6年第2回定例会の議事日程は、終了といたします。

次回、令和6年第3回定例会は、3月27日(水)午後1時30分に開会しますので、よろしくお願いいたします。

また、令和6年第1回臨時会は、2月26日(月)午後5時00分に開会しますので、よろしくお願いいたします。

これをもちまして、令和6年第2回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和6年3月27日

教育長 小野田 誠

委員 片山 上総

書記 岡田 正道